

各種健康診査(検診)の受診状況

についてお知らせします

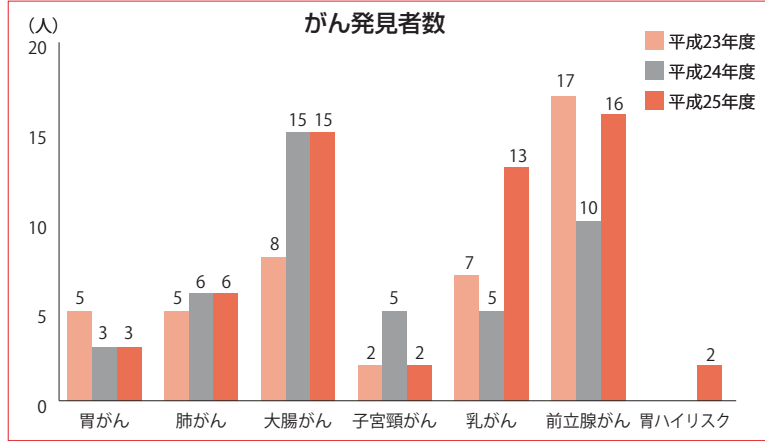
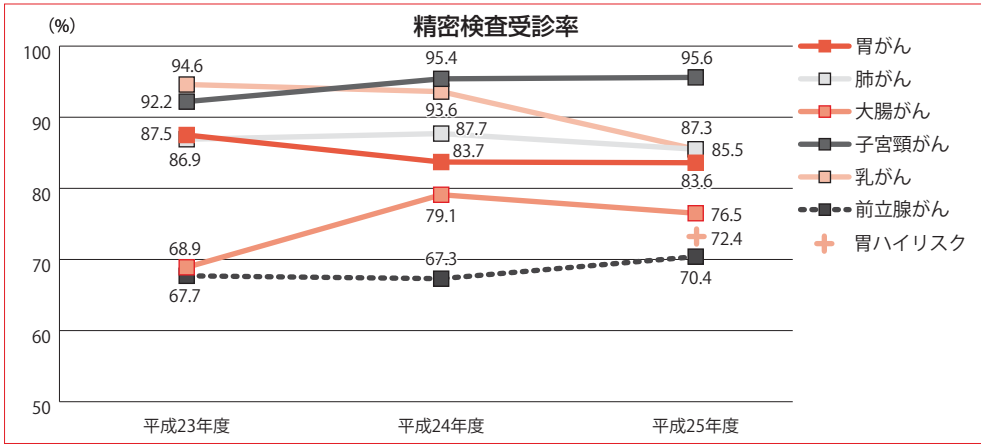
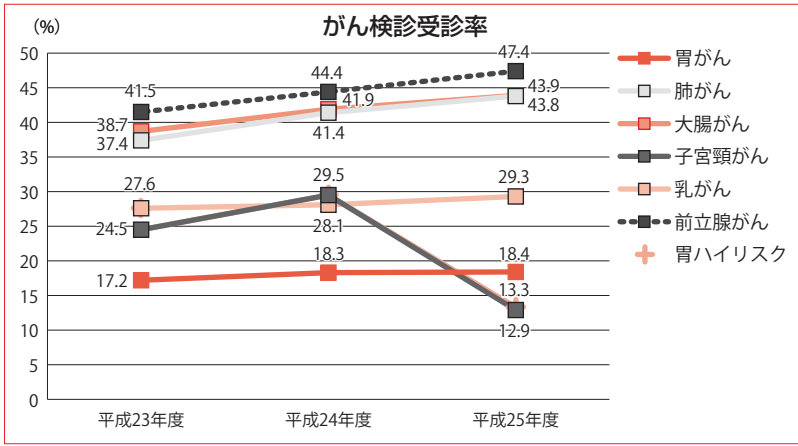
○がん検診受診率

がん検診を受診する方は毎年徐々に増加しています。

子宮頸がんについては、平成24年度からHPV併用検診を実施しており、検診結果に異常がなかった方は次回の検診が3年後となるため、平成25年度の受診率が減少しています。

○精密検査受診率・がん発見者数

がんの早期発見・早期治療は、完治の可能性も高くなり、治療に要する費用や時間などの負担も軽くなります。

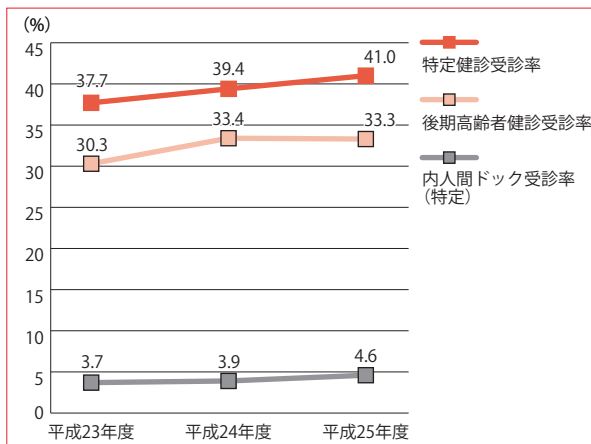


ます。自分のため、身近な人のためにも検診は毎年受けましょう。そして精密検査になった場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

○特定健康診査・後期高齢者健康診査受診率

特定健康診査は、内臓脂肪型肥満に着目し、生活習慣を改善する必要のある方を抽出するための健診です。該当した方には、病気になるまいようにするため、生活習慣を見なおす保健指導を行っています。生活習慣病は自覚症状がないまま進行してまいりますので、健康診査

を受けることは、個人が生活習慣を振り返るうえで絶好の機会といえます。また、後期高齢者健康診査は、体の異常を見つけるばかりでなく、将来的な生活習慣病発症のリスクを見つけてだすことを大きな目的として実施しています。健やかな毎日を送れるよう、年に一度は健康診査を受けるようにしましょう。



■問い合わせ先

- がん検診に関すること
- 健康増進課 ☎(52) 1116
- 特定健康診査に関すること
- 市民課 ☎(40) 5556
- 後期高齢者健康診査に関すること
- 社会福祉課 ☎(52) 1112